

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年5月15日

事業所名 音楽療法センター コスモス・キッズ

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			個別療育だが十分なスペースを確保している	
	2	職員の配置数は適切である	6			個別療育だが、4人体制をとるようにしている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5		1	室内は全てバリアフリー化している。トイレも広く複数で介助出来るようになっている	まだまだ改善に余地はあると認識している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			職員ミーティングで常に意識するようにしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		保護者とのコミュニケーションを図るようにしている	毎年1回実施しているが職員周知を図っていききたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1			毎年1回実施しているが職員周知を図っていききたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4			毎年1回実施しているが職員周知を図っていききたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5				積極的な研修参加を促していく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			保護者、児童とのコミュニケーションを大事にしている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		1		実施しているが職員周知を図っていききたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1			職員同士のコミュニケーションを図っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			職員同士でコミュニケーションを大事にしている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	1		音楽療法に特化した療育の為、継続した支援になっている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			個別とグループを状況に応じて取り入れている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			前日までに担当表で確認している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			毎回の終了時に職員間で確認している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			毎回支援記録を書いている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			毎回の支援記録で振り返るようにしている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	1			職員にガイドラインの熟知を促していく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			シフトをやり繰りして参加するようにしている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	3			送迎は実施していない。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					医療ケアには対応していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1			発達支援センター、相談事業所とは常に連携を取っている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	3			保護者を介して伝えていただいている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1			連携しているが職員への周知を図る。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	1	自主イベントの開催	自主企画イベントは障がいの有無にかかわらず参加できる。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	4			参加していない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6				保護者とのコミュニケーションを図るようにしている
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2			ママパパクラブの時に保護者間の交流を図っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				初回面談時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				保護者とのコミュニケーションを図るようにしている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6				保護者同士交流の場を作っている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				保護者とのコミュニケーションを大事にしている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6				季刊通信を発行している
	35	個人情報に十分注意している	6				鍵付き書庫に入れている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				保護者とのコミュニケーションを大事にしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2			法人代表が対応している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			さすまた、感染症対応グッズなど常備している	半年に1度避難訓練を実施している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				半年に2度避難訓練を実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1			研修に積極的な参加を促していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1	2		保護者同伴通所で同室しない場合でもカメラで可視化している。状況に応じて保護者の了解を得た上で対応しているので支援計画には記載していない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている					食事の提供はしていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			職員同士のコミュニケーションを大事にしている	